「新しい生活様式」を踏まえた

音楽科の学習指導実践例

すぐに
実践できる！

鑑賞　編

楽しい音楽科の学習を目指して･･･

令和2年6月10日

北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部

目　次

◆「新しい生活様式」を踏まえた音楽室の環境と児童への指導等

◆実践例①
１年生「どれみと なかよく なろう」　（教科書３３ページ）
鑑賞曲『みつばちハニーの ぼうけん』
札幌市立伏見小学校　岩倉　達也

◆実践例②
２年生「はくの まとまりを かんじとろう」（教科書１８,１９ページ）
鑑賞曲『ミッキーマウス マーチ』
『メヌエット』
札幌市立幌南小学校　武田　紘一

◆実践例③
３年生「いろいろな音のひびきをかんじとろう」（教科書５０,５１ページ）
鑑賞曲『トランペットふきの休日』
『アレグロ』
札幌市立幌西小学校　近藤　公美

◆実践例④
４年生「歌声のひびきを感じ取ろう」　（教科書 12,13 ページ）
鑑賞曲『パパゲーノとパパゲーナの二重奏』
札幌市立資生館小学校　数田　浩樹

◆実践例⑤
５年生「音の重なりを感じ取ろう」　（教科書 20,21 ページ）
鑑賞曲『アイネ クライネ ナハトムジーク第１楽章』
札幌市立二条小学校　斎藤　優花

◆実践例⑥
６年生「いろいろな音色を感じ取ろう」　（教科書 16,17 ページ）
鑑賞曲『木星』
札幌市立資生館小学校　北嶋　菜津子

「新しい生活様式」を踏まえた
音楽室の環境と児童への指導等

簡単！
チェックリスト

□音楽室の窓やドアを開けていますか

□児童の間隔を**最低1m**は取っていますか

□多人数の場合は、広い場所で行っていますか

□使用後に、消毒作業は行っていますか

□児童、指導者はマスクを着用していますか

□大きな声、音量を求めていませんか

□演奏中もマスクをしていますか

□授業後に手洗いを徹底していますか

「新しい生活様式」を踏まえた音楽科の学習指導について（小学校）より参照
（令和２年６月１日）

令和２年度　新しい生活様式を踏まえた音楽科の学習　実践例

１年生　どれみと なかよく なろう

教材曲：『　みつばちハニーの　ぼうけん　』

ねらい

・みつばちハニーの気持ちや様子を思い浮かべ、それらと聴いている音楽の旋律や速さとの関わりに気付く。【知識】
・みつばちハニーの様子が変化する音楽の楽しさを見いだし、味わって聴く。
【思考力・判断力・表現力】

思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

旋律　速さ

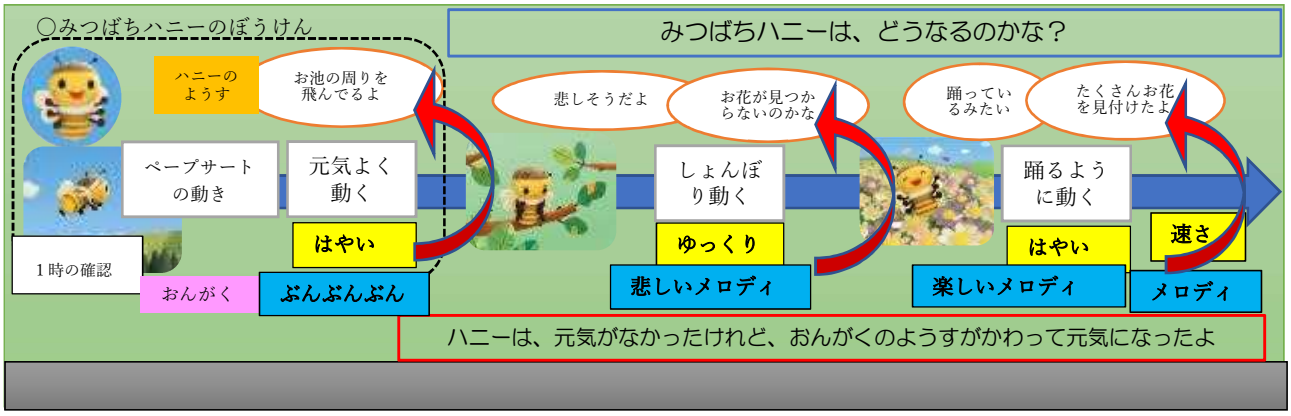
教材曲について

鍵盤ハーモニカの魅力を伝えるために、童謡「ぶんぶんぶん」をモチーフに松田昌氏が作曲した。ナレーションもついていて、みつばちハニーの気持ちや様子を想像しやすい。鍵盤ハーモニカとピアノ、その他打楽器で演奏されている。

本教材では、旋律や速さが変化することで、みつばちハニーの気持ちや様子も変化することに気付き、音楽を聴く楽しさを味わわせたい。

なお、児童が聴き取ったトライアングルやスライドホイッスル、ボンゴなどの他の楽器（音色）や、強弱の変化も取り上げて曲想に関連付けても良い。

板書例（２時間目）



指導展開例（２時間扱い）

〇教科書３３ページの挿絵を取り上げ、曲名や登場人物「ハニー」を紹介する

〇『みつばちハニーの冒険』の前半を聴く（トラック１０、１１のみ通して聴く）

「ぶんぶんぶん」だ！！

ピアノや鍵盤ハーモニカの音が聴こえたよ

〇音楽をくり返し聴いたり、ハニーのペープサートを動かしたりしながら様子を想像する

お池の周りを飛んでいるよ

気持ちよさそうに飛んでいるよ

※トラック１１になった時、ハニーの動きを変化させた児童を取り上げる

どうしてハニーの動きを変えたのかな？

ぶんぶんぶんとは違うメロディになったから、動きを変えてみたよ

さっきより、速くなったからハニーも速く動くよ

〇聴き取ったことと感じたこととの関わりが分かるように整理して板書する

メロディや速さが変わると、ハニーの様子も変わって聴こえるんだね

『みつばちハニーのぼうけん』の続きを、聴いてみよう

〇前時のハニーの様子を確認し、全曲を通して聴く

ハニーの様子が前とちがったよ

元気がなくなった感じがする

みつばちハニーは、どうなるのかな？

〇全曲を通して聴く

- ペープサートを動かしたり、静かに聴いたりする活動を何度かを繰り返し、思い浮かんだハニーの様子や気持ちを交流する
- トラックが変わった時に、ペープサートの動きが変わった児童を取り上げる
- 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりが分かるように整理して板書する

感じ取ったこと

聴き取ったこと

ハニーが悲しそう

お花がなかなか見付からないんだよ

トラック１２

音楽がゆっくりになったよ

メロディが悲しい感じになったよ

だから

速さ

旋律

踊っているみたいだな

お花を見付けて喜んでいるよ

トラック１３

音楽がはやくなったよ

楽しい感じのメロディになった

だから

ハニーは、元気がなかったけれど、おんがくのようすがかわってげんきになったよ

令和２年度　新しい生活様式を踏まえた音楽科の学習　実践例

２年生　はくの まとまりを かんじとろう

教材曲：『ミッキーマウスマーチ・メヌエット』教科書 18 ページ～19 ページ

ねらい

- **曲想とリズムや拍との関わり**に気付く。【知識】
- リズムや拍を聴きとり、それらが生み出すよさやおもしろさ、美しさなどを感受しながら、**聴き取ったことと感じ取ったこととの関わり**について考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。【思考力・判断力・表現力】

思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

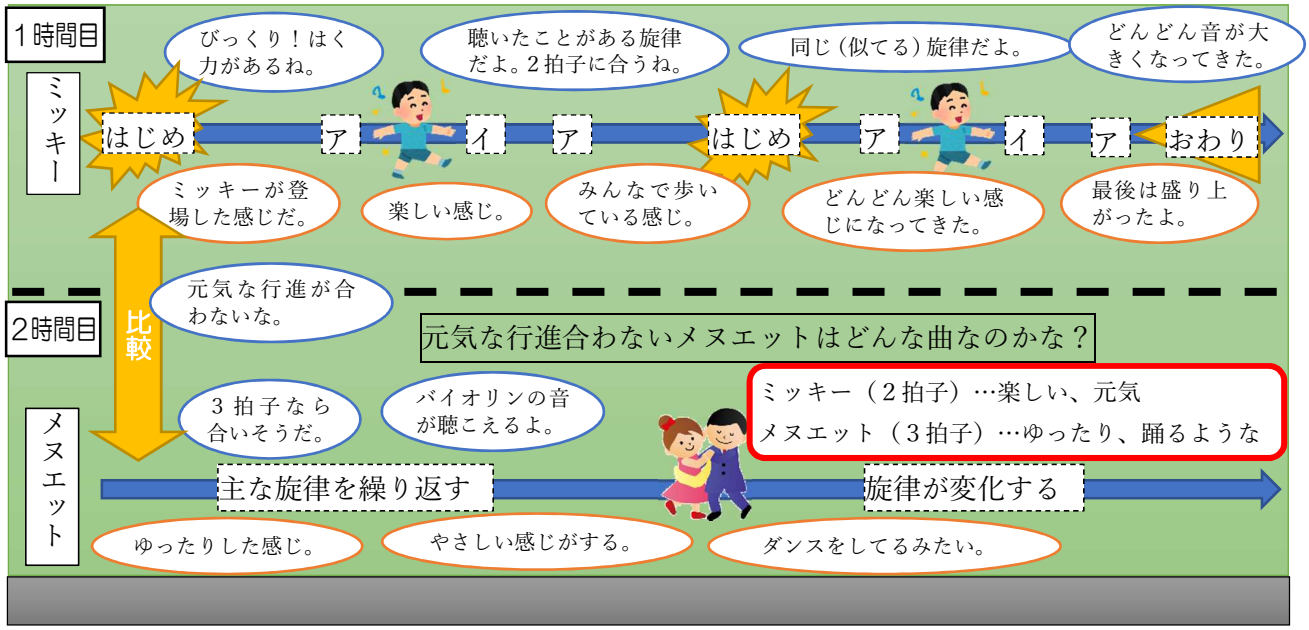
拍、リズム

教材曲について

『ミッキーマウスマーチ』…作詞・作曲はジミー・トッド。ご存じ、ミッキーマウスのテーマ曲。
『メヌエット』…ペツォルト作曲。メヌエットとは３拍子でつくられた舞曲を意味する。
２拍子の行進曲（ミッキーマウスマーチ）と３拍子の舞曲（メヌエット）の２曲を鑑賞する。拍子が異なる２曲を聴き比べることで、拍子の違うことで曲の感じ（曲想）がどのように変わるかを、体を動かすなどして楽しみながら感じ取りたい。

※「拍子」・・・拍のある音楽において、二拍でまとまれば二拍子の、三拍でまとまれば三拍子のように、拍のまとまりにみられる周期性のことである。
「拍」・・・音楽の流れの中で、等間隔で刻まれる時間の単位である。

板書例（２時間分）



指導展開例（２時間扱い）

前時までに
○Ｐ１４、１５の「はしの上で」に合わせて「２拍子の手遊び（膝、手）」を楽しむ。
○Ｐ１６、１７の「たぬきのたいこ」に合わせて「３拍子の手遊び（膝、手、手）」を楽しむ。
※本来は歌唱の教材ですが、リズム遊びの曲として触れて、親しんでおくとよい。

○『ミッキーマウスマーチ』を聴いて、リズムに合わせて体を動かし、２拍子の流れを感じ取る。

- 『ミッキーマウスマーチ』の曲全体を聴き、思ったことや感じたことを交流する。
- 教科書１５ページの「２拍子の手遊び」をしながら聴く。

おんがくに合わせて、手の動きを途中で変えた人がいるよ。どうしてかな？

- 手遊びを発展させ、その場で足踏みをしながら、曲の様子に合わせて手を動かす。
- 子どもの動きの根拠を聴きとったこと（音楽の要素に関わること）や感じ取ったこと（音楽の雰囲気や気分）に整理して、何度も聴く。

最初は音が強くてミッキーが登場する感じがしたから両手を挙げたよ。	すごく楽しい感じがしたから、腕をふって元気に歩いたよ。	大太鼓のリズムに合わせて手を動かしたよ。迫力があるな。

ミッキーマウスマーチは２拍子の行進曲で、
元気に楽しく行進している感じがする曲だったよ。

○ミッキーマウスマーチとメヌエットの違いを捉える。

- 『メヌエット』を聴き、思ったことや感じたことを交流する。
- 『ミッキーマウスマーチ』のように２拍子の行進をしながらメヌエットを聴く。

元気な行進は合わない　２拍子じゃないのかな？　※２拍子の元気な行進とは違う感じになることを確認

元気な行進が合わないメヌエットは　どんな曲なのかな？

○リズムや拍を捉えて、メヌエットがどんな曲なのかを考える。

- 「３拍子の手遊び」をしながらメヌエットを聴き、メヌエットが３拍子の曲であることを捉える。
- メヌエットに合う、３拍子に合うように（体を横に揺らすなど）体を動かして聴く。（※その場からは動かずにできることを考えるように事前に指導する）
- 子どもの動きを教師が見取り、聴きとったことや感じ取ったことを交流する。

曲が優しい感じだったからゆっくりと動いてみたよ。	（バイオリンの）なめらかな音に合わせて横に動いたよ。	ミッキーとは違ってゆったりだから優しく足踏みしてみたよ。

○2曲を通して聴き、『ミッキーマウスマーチ』（2拍子の曲）と『メヌエット』（3拍子の曲）との曲想の違いを捉える。

- ２曲の中からお気に入りの曲を選び、その理由（聴きとったことと感じ取ったことが表れるように）とともにワークシートに記入する。
- ワークシートに書いた内容を交流する。

メヌエットはミッキーマウスマーチとは違って
３拍子でゆったりと踊っているような音楽だったよ。

令和２年度　新しい生活様式を踏まえた音楽科の学習　実践例

３年生　いろいろな音のひびきをかんじとろう

教材曲：『トランペットふきの休日』『アレグロ』　　教科書 50 ページ～51 ページ

ねらい

・楽器の音色の違い、主な旋律の反復、曲の感じが変わることに気付く。【知識】
・トランペットとホルンのそれぞれの音色の特徴、旋律の反復などの聴き取ったことと、感じ取ったことを結び付けながら、曲全体を味わって聴く。
【思考力・判断力・表現力】

思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

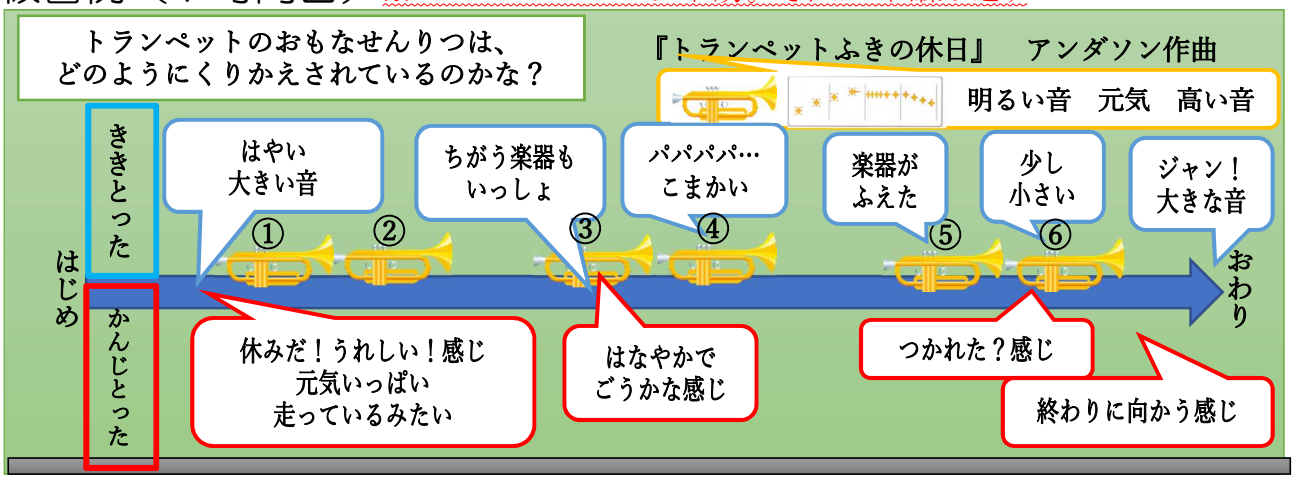
音色　旋律　反復

教材曲について

『トランペットふきの休日』
アメリカの作曲家ルロイ・アンダソン（1908～1975）の作品。
『アレグロ』
オーストリアの作曲家モーツァルト（1756～1791）の作品。
　旋律が反復される曲の特徴を捉えるとともに、金管楽器の音色に着目して、それぞれの楽器の固有の音色の美しさも味わって音楽を聴くことができるようにするための教材曲である。さらに、トランペットとホルンの音楽を聴き比べることによって、それぞれの楽器の音色の違いやよさを感じ取ることができる。

板書例（１時間目）

※ ×４で１回分。それが６回繰り返す



指導展開例（２時間扱い）

○P48～49 を見て、金管楽器にはいろいろな種類の楽器があることや、音の出る仕組みについて知る。（音楽授業支援 DVD『10　いろいろな金管楽器』参照）

○主な旋律を演奏しているトランペットに着目して『トランペットふきの休日』を聴き、感じ取ったことや、音色と主な旋律について気付いたことをワークシート（指導書研究編 P167 参照）にまとめる。※オーケストラと３本のトランペットで演奏されていることを確認する

○聴き取ったことや感じ取ったことを話し合う。

- 明るくて、華やかな音
- とても元気がよくて、運動会にぴったりだ。
- 同じ旋律が何回も繰り返されていたよ。
- 旋律は同じだけど、感じは変わっていく

トランペットの主な旋律は、どのように繰り返されているのかな？

○P50 の主な旋律の図譜を見て、主な旋律が出てきた時に手を挙げる、立ち上がる、楽器を吹く真似をする等して、主な旋律が何度も繰り返されていることを聴き取る。

- 主な旋律は何回も何回も登場して楽しいね。
- 主な旋律は、強弱やリズムが少し変わって出てくるところもあるね。

『トランペットふきの休日』は、トランペットの主な旋律が、強弱やリズムが少しずつ変わりながら、何回も繰り返し出てくる楽しい曲だよ。

○ホルンの音色に着目して『アレグロ』を聴き、感じ取ったことや、音色と主な旋律について気付いたことをワークシート（指導書研究編 P167 参照）にまとめる。

○「トランペット吹きの休日」と比較して、聴き取ったこと（音楽の諸要素に関わること）や感じ取ったこと（音楽のもつ雰囲気や想像したこと）を話し合う。

※ホルンが２本で演奏されていることを確認する

- ホルンは、トランペットよりもあたたかい音。
- 森の中にいるような感じ。
- 『トランペットふきの休日』と同じように、同じ旋律が繰り返し出てきたよ。

○P51 の主な旋律の図譜を見て、主な旋律が出てきた時に手を挙げる、立ち上がる、楽器を吹く真似をする等して、主な旋律が繰り返されていることを聴き取る。

ホルンの主な旋律は、どのように繰り返されているのかな？

- 主な旋律→ほかの旋律→主な旋律→ほかの旋律と、順番に出てきたよ。
- ホルン以外の楽器は出てこない。

『アレグロ』は、ホルンだけで演奏されていて、
主な旋律→ほかの旋律→主な旋律→ほかの旋律の順で出てくる曲だよ。

○楽器の音色について聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて紹介文を書き、改めて鑑賞する。

- 『トランペットふきの休日』は、トランペットの明るい音で元気が出る曲です。運動をする時にぴったりです。
- 『アレグロ』は、ホルンの優しいほんわかした音色で、まるで森の中にいるような気分になる曲です。優しい気持ちになります。

令和２年度　新しい生活様式を踏まえた音楽科の学習　実践例

４年生　歌声のひびきを感じ取ろう

教材曲：『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』教科書 12 ページ～13 ページ

ねらい

- 楽曲の愉快で楽しい感じや二人の様子の変化と歌声の特徴や二つの歌声の掛け合いや重なり方との関わりに気付く。【知識】
- 歌声の特徴や重なり方と曲想との関わりについて気付いたことを生かし、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を楽しみながら味わって聴く。

【思考力・判断力・表現力】

思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

音色　音の重なり　よびかけとこたえ

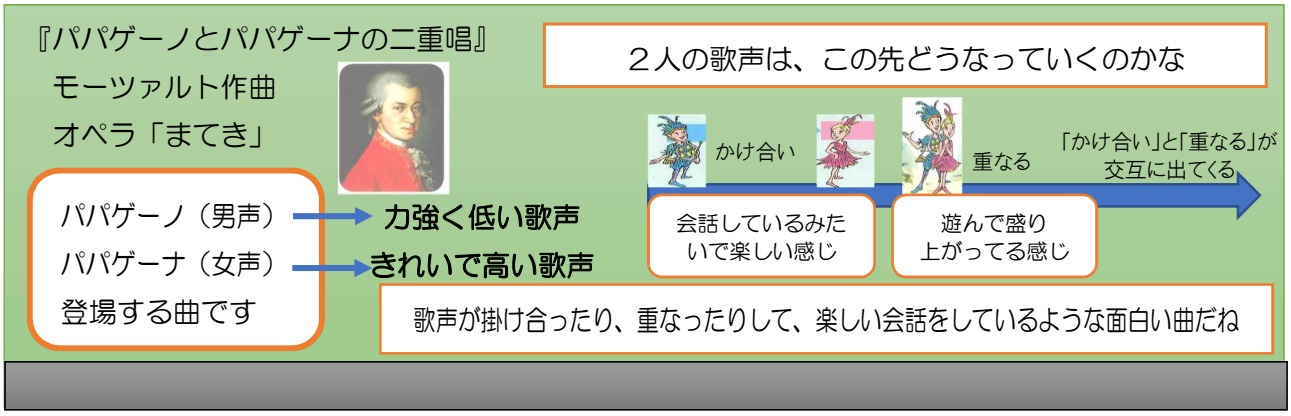
教材曲について

モーツァルト作曲による歌劇「魔笛」の中の１曲。パパゲーノと恋人のパパゲーナが、仲良く名前を呼び合って楽しく歌っている曲である。

冒頭部分が男声（パパゲーノ）と女声（パパゲーナ）による掛け合いで始まり、歌声の違いを聴き取りやすい。また、歌詞が「パ」だけの部分は、思わず楽しい気分になってしまう曲であり、子どもたちにも十分楽しさを感じさせたい。

２人の歌声は「掛け合いをする部分」と「重なっている部分」に分けられるので、視覚的に整理しながら、その面白さを味わって聴くことを大切にしたい。

板書例（２時間目）



指導展開例（２時間扱い）

○『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』の冒頭部分（～0:34）を聴く。

※曲名や曲の解説はせず、誰かが発見したことをみんなで確かめながら楽しく何度も聴く。

「パ」しか歌っていない変な感じの曲だな	２人でうたっているように聞こえたよ。	急に早口になったり、まねっこしたりしてる。

○作曲者名（モーツァルト）や歌劇「まてき」の簡単な解説をして、登場人物の２人の名前と歌声の違い（男声・女声）を確認し、再度、冒頭部分（～0:34）を聴く。

※「パパゲーノの声の時は立つ」「パパゲーナの声の時は座る」等の動きで２人の声を確認する。

パパゲーノとパパゲーナの歌声には、どのような違いがあるのかな

パパゲーノ（男声）
- 歌声が低い
- 力強い感じがする
- 迫力がある感じがする。

音色 ⇔ 違い

パパゲーナ（女声）
- 歌声が高い
- きれいな歌声
- 優しい（かわいい）感じがする。

『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』は、男の人の力強い歌声と女の人のきれいな歌声が聞こえてくる楽しい曲だね。

○『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』の掛け合い部分から、歌声が重なる部分まで（～1:00 あたりまで）を「男声の時は立つ」「女声の時は座る」の動きで聴く。

簡単に聴き分けることができるようになったよ	あれ、どうしたらいいかこまった部分があった	２人の声が重なって聴こえた部分があった

パパゲーノとパパゲーナの歌声は、この先どうなっていくのかな

○『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』の全曲を通して、何度も聴く。

※「パパゲーノの声の時は立つ」「パパゲーナの声の時は座る」等の動きに加えて、「２人の歌声が重なった時は、○○する」と学級で決めておく。

掛け合い部分
- 会話みたい
- 楽しい感じ

→

声が重なる部分
- 盛り上がる感じ
- 2人で遊んでいる感じ

→

掛け合い部分と声が重なる部分が繰り返し出てくる

○二人が、どんな会話をしていたかを想像したり、『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』の面白かったところを学習カードに書いたりして、楽しんで聴く。

『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』は、２人の歌声が掛け合ったり、重なったりして、楽しい会話をしているような面白い曲だったね

令和２年度　新しい生活様式を踏まえた音楽科の学習　実践例

５年生　音の重なりを感じ取ろう

教材曲：『アイネクライネナハトムジーク　第１楽章』教科書 20～21 ページ

ねらい

・**曲想と音の重なりとの関わり**について気付く。【知識】
・いろいろな弦楽器（バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス）の**音色**や、**旋律が重なり合う**音楽のよさを見いだし、味わって聴く。

【思考力・判断力・表現力】

※今回は、歌唱『いつでもあの海は』を歌うのではなく、参考曲として聴くことで旋律の重なりについて学ぶような展開にした。あくまでも参考曲として扱うので、子どもが歌うのではなく、範唱 CD などを聴かせて学習するように気を付けるとよい。）

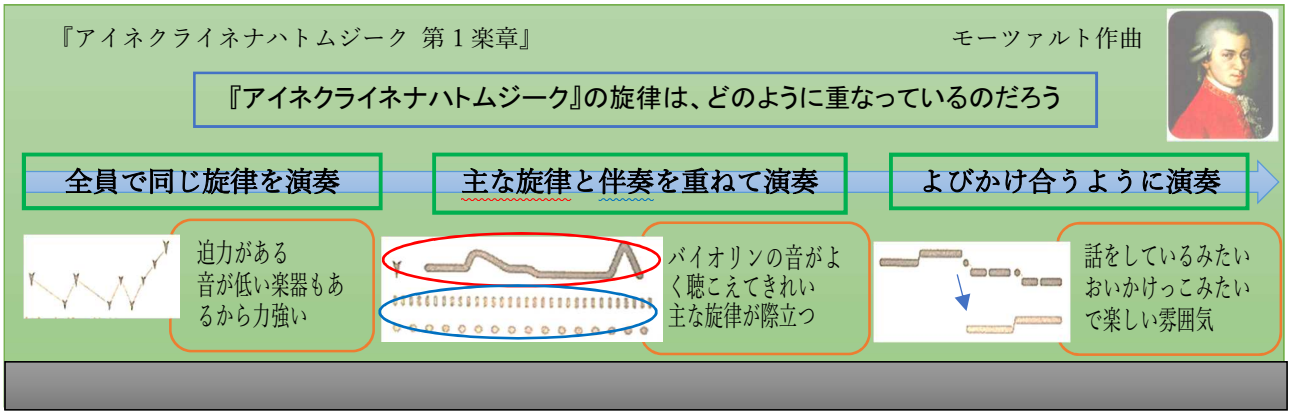
思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

音色　音の重なり

教材曲について

この曲は、1787 年にモーツァルトが作曲したセレナード（小夜曲）である。バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスの弦楽四重奏で、**弦楽器の音色**や楽器による音の高さの違いが分かりやすいので、そのよさや面白さを感じ取りたい。冒頭部分はよく知られており、**すべての楽器で同じ旋律を演奏（ユニゾン）**している。その後、**主な旋律と伴奏に分かれ**、**掛け合う**というように**音の重ね方を変化**させている。また、主題を基盤として途中で転調をしながら曲想が変化する。「途中で曲の雰囲気が変わった。」など、弦楽器の音の重なり以外の変化にも気付いた場合は、取り上げて価値づけていきたい。

板書例（２時間目）



指導展開例（２時間扱い）

※本鑑賞授業をより深めるために、事前に歌唱曲『いつでもあの海は』の範唱を聴いたり楽譜を見たりして、旋律の重なり方やその響きの違いについて聴き取ったり感じ取ったりしておくとよい。

○『アイネクライネナハトムジーク第１楽章』を聴き、曲名や作曲者について知る。

この曲聴いたことがあるよ。

楽器はヴァイオリンかな。

『アイネクライネナハトムジーク』で使われている楽器について知ろう。

○教科書 P.22、23 の写真や音楽授業支援 DVD（チャプター３）を見て、弦楽器の音色を聴き取り、音色の違いや音色の雰囲気や感じについて交流する。

バイオリンやビオラは音が高くてよく響き、きれいな感じがする。

音色

コントラバスは音が低くて、力強い感じや怖い感じがする。

４種類の弦楽器が使われているんだ。
いろいろな種類があって音の高さや聴いたときの感じ方が変わるんだ。

○曲の冒頭部分（１分３０秒あたりまで）を楽器の重なり方に着目して聴き、次時の見通しをもつ。

最初はすべての楽器が同じ旋律を演奏しているよ。

途中からいろいろな旋律が出てきて重なり方が変わるね。

○『アイネクライネナハトムジーク第１楽章』の全曲を通して聴き、曲想と旋律の重なりを意識して味わう。

途中から伴奏のパートが出てきた。

重なり方が変わる！

呼び合うような部分があるね。

『アイネクライネナハトムジーク』の旋律は、どのように重なっているのだろう。

- 教科書の図形楽譜を提示し、指でなぞりながら、どの部分を表しているかを聴きながら考え、旋律の重なり方の違いを確認する。
- 「全員で同じ旋律を演奏する部分」と比較しながら、それぞれの重なり方でどんな感じがするか交流する。

全員で同じ旋律を演奏すると、迫力があるし、音が低い楽器もあるから力強い。

メロディーと伴奏に分かれていると、バイオリンの音がよく聴こえてきれい。伴奏があると盛り上がるね。

呼びかけ合うところは、話やおいかけっこをしているみたいで楽しい雰囲気だね。

音の重なり

全員で同じ旋律を演奏したり、主旋律と伴奏に分かれたり、呼び掛け合ったりしている。

○旋律の重なり方の変化について、聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて紹介文を書く

弦楽器が全員で同じ旋律を力強く演奏し、伴奏が入ったり呼び掛け合う部分があったりして、楽器の重なりがいろいろ変わってわくわくした感じで楽しい曲です。

令和２年度　新しい生活様式を踏まえた音楽科の学習　実践例

６年生　いろいろな音色を感じ取ろう

教材曲：『　木星　』　　教科書 16 ページ～17 ページ

ねらい

・曲想及びその変化と、楽器の音色と旋律の反復や変化との関わりに気付く。
【知識】

・いろいろな楽器の音色が組み合わさって生まれるオーケストラの響きの美しさや旋律の反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲や演奏のよさを見いだし、味わって聴く。　【思考力・判断力・表現力】

思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

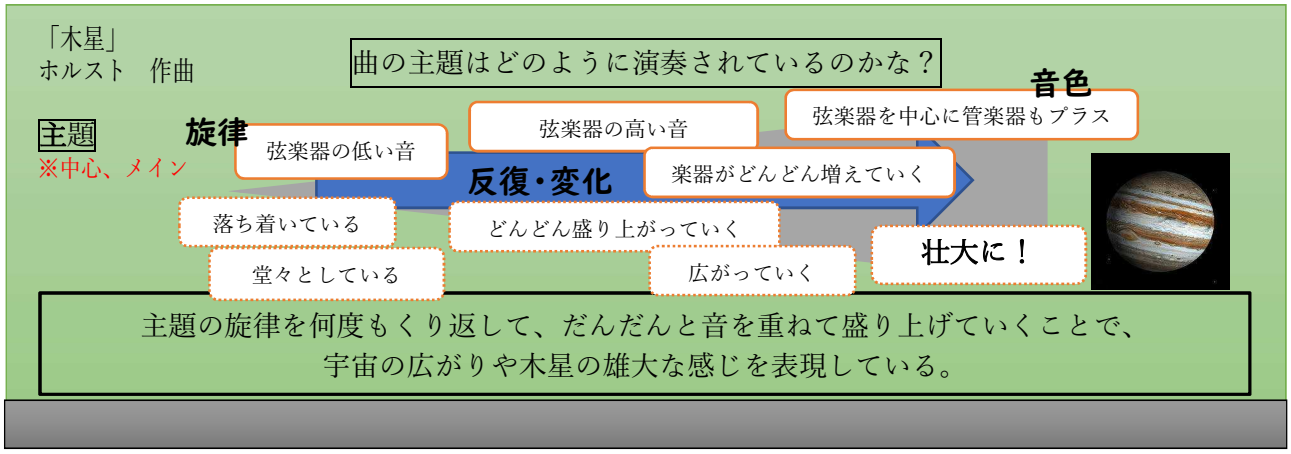
反復　変化（旋律とその音色、速度の関わり）

教材曲について

イギリスの作曲家グスターヴ ホルスト（1874～1934）の作品で、『木星』は、全７曲からなる管弦楽組曲「惑星」の第４曲です。中間部の４分の３拍子の旋律は、「Jupiter」としてテレビや歌唱曲などを通して広く知られています。

この曲は、ア→イ→ア→終わりの部分と、大きく４つの部分からできています。アでは４つの旋律がかわるがわる現れます。イでは、曲の主題となる旋律が、演奏する楽器を増やしながらくり返し現れます。旋律がくり返される度に音色が変化していることに気付いたり、音の重なりが生み出すオーケストラの豊な響きを感じ取ったりすることができる曲です。

板書例（２時間目）



指導展開例（２時間扱い）

※事前に、歌唱曲「Jupiter」を聴かせることで、主題部（イ）の旋律を印象付けるとともに、鑑賞曲に興味をもたせることができる。

〇教科書１６ページの譜例で旋律を確認し、「木星」のはじめの部分（ア）を聴く。

スターウォーズみたいな音楽だ。

あれ？さっき聴いた「Jupiter」のメロディーじゃないよ。

海で闘っているような音楽だ。

「木星」のはじめの部分（ア）はどんな旋律かな？

金管楽器の迫力がある旋律でスタートだ！

♫♩ が何度も出てくる。よびかけているみたいな旋律だな。

強そうな旋律になった。でも、途中で高い音の楽器が入ってきて、キラキラした感じもする。

４分の３拍子になった。揺れるような楽しい感じの旋律になったよ。

※聴き取ったことと感じ取ったことを伝え合い、音楽を繰り返し聴いて確かめていく中で、４つの旋律があることに気付かせていくようにしたい。

４つの旋律があるんだ！

いろいろな旋律が次々に出てきて、様子が変化するのが面白い！

４つの旋律がかわるがわる出てきて、いろいろな楽器の音色が聴こえるにぎやかな音楽

〇イが曲の主題であることを伝え、音楽の様子を予想させた上で、はじめの部分（ア）から続けて主題部（イ）を聴く。

※主題はその曲の中心であることを、「主」がつく他の言葉（例えば、主食、主人公など）に置き換えるなどして捉えさせるようにする。

アがとてもにぎやかな音楽だったから、主題のイはもっと豪華な音楽になるんじゃない？

アと同じように、またいろいろな旋律が次から次に出てくるのかもしれないよ？

「Jupiter」の旋律と同じ主題が、何回か繰り返して出てくるね

曲の主題はどのように演奏されているのかな？

弦楽器の低い音
- 弦楽器がのびのびと演奏している。
- アと比べると落ち着いていて堂々した感じがするよ。

→ **弦楽器の高い音**
どんどん音楽が盛り上がっていくよ。

→ **弦楽器＋管楽器**
音の響きがますます豊かになって壮大な感じ。

楽器がどんどん増えていく。

だんだんと楽器が増えて、響きが広がっていくところが、宇宙の広さを表しているようだ！

〇曲全体を通して聴く。

またアの音楽になったよ。ア→イ→アの音楽だ。

はじめのアとは楽器の音色が少し違うよ。

イの旋律も最後に聴こえた！

にぎやかなアの音楽に落ち着いたイの音楽がはさまれていることで、主題の堂々とした感じが強調されている！

主題の旋律を何度もくり返して、だんだんと音を重ねて盛り上げていくことで、宇宙の広がりや雄大な感じを表現している

〇ホルストに向けて、自分のお気に入りを伝える手紙を書く。※主題の反復や変化に関わらせて書く

今こそ「音楽」の力で
子どもを笑顔に・・・

発行日　　令和２年６月１０日

発行元　　北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部

発行責任者　北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部
支部長　　高　安　敦　子
（札幌市立手稲鉄北小学校長）